

おとしかわあ 情報

Information

■ 山口市成人式が開催されました

令和3年5月4日(火)みどりの日に山口市市民会館にて令和2年度の成人式が開催されました。

今回は1月に開催予定だった令和2年度の成人式が延期されたものです。コロナ禍での開催ということで、今までにない2部制(1部30分)の導入や、健康管理シートの提出、国歌斉唱が国歌静聴に代わるなど、感染対策を行った上での開催でした。

今回の対象者は平成12年4月2日から平成13年4月1日までの間に生まれた方です。対象者2,087名のうち139名が大歳地域の新成人です。

感染対策として集合写真の撮影も行いませんでしたが、その代わりに、大歳地域交流センター後援会では写真入りカレンダーを希望者に無料配布します。

新成人のみなさんが、大歳に住み続けたい、住んでよかったと思えるよう、大歳まちづくり協議会はみなさんとともに地域のために頑張りたいと思っています。



■ 「ホタル観賞の夕べ」が子ども部会主導にて開催

6月5日(土)に7組の家族が2グループに分かれ、山口昆虫学会角田正明先生による「ホタル講座」を受けた後、馬庭の朝田川で鑑賞しました。

今年は、天候の関係で残念ながらホタルが少なかったのですが、ほのかに舞うホタルの光も風流で心が癒されたのではないのでしょうか。



行/事/予/定 7~9月

- [延期] おおとし防災の日イベント
- 7月15日(木)~21日(水) 榎野川水系クリーンキャンペーン
- 7月30日(金) 大歳地区花いっぱい運動花壇コンテスト
- [中止] 第35回おおとし夏まつり
- 8月29日(日) 第1回大歳地区グラウンドゴルフ大会

■ 恒例 大活躍!! 大歳草刈り隊

6月13日(日)クリーンアップ作戦が草刈り隊26名の参加により、榎野川、吉敷川、朝田川周辺で実施されました。川沿いの自治会の皆さんにもご協力をいただき、とても綺麗になりました。日々、通勤・通学・散歩と川沿いを通る方々は快適になったのではないのでしょうか。初夏と秋に年2回と本当にありがとうございます。



■ 史跡看板(第4弾)が完成しました

「石州街道と大歳(下湯田・下矢原・西矢原地区)」が、はるばん横駐車場西側に7月中旬以降に設置されます。



編集後記

ゆらゆらと光を引いて飛ぶ蛍の姿は格別ですが、その減少率の激しさは心配です。子どもの頃、里を埋め尽くしていた蛍が絶滅して、半世紀かけて復活したのに、ニナ不足という飢餓に悩む蛍たち。蛍に家と食糧支援を!(武波)

まちづくりかわら版 おおとし

2021.7 Vol.70



水路による内水氾濫対策をすすめよう

防災集 1

取水口から放出口までの全体を調べて対策を

●取水口

農業用水路は川をせき止めて水量を増やし、取水口から水を引き込んでいます。堰は榎野川(矢原堰(富田原)と新井出堰(下湯田))、吉敷川(湯田堰と千代丸堰)につくられています。洪水にならないためには、早めに堰を下げ、取水口を閉めることが必要で、来年度の湯田堰の工事で、大半の堰と取水口の電動化が進み、洪水に備える体制がほぼ完成します。

●放出口

水路は幾重にも枝分かれしながら流れており、途中に川への放出口が何か所かあります。

この放出口はどうなっているのでしょうか?多くの放出口は、流れ出る川(大半は吉敷川)が増水すると排水口につけられた逆流防止弁が作動し、河川からの逆流を防ぐようになっています。この弁が機能している時には、水路の水は出口を失い道路にあふれ出てしまいます。水田が遊水地として水をためこんでいた時代には、十分だったとしても、住宅が増えた現在では今まで以上の対策が必要です。

●ポンプの設置

こうした問題への対策として、現在2か所(三作と石津橋もと)でポンプによる排水が行われています。理屈上はすべての放出口にポンプが必要となりますが、当面内水氾濫を引き起こしそうな放出口へのポンプ設置を検討しなければなりません。

●中川対策を

千代丸堰以外の水路の水は、岩富を流れる水路・中川に集中しています。大きな水路に流し込んで、水路氾濫を防ごうとした先人の知恵です。中川ではこれまでも調整池の設置や橋の下の狭くなった部分の拡張工事などが行われてきました。しかし、水門もなく、吉敷川が増水すれば、中川からの水が流出しなくなるのか、それとも川の流れの速さに引きずられて水路の水が吐き出されているのかさえよくわかっていません。後者を想定した対策のままで大丈夫なのか、科学的な調査が必要です。

水路は長くて複雑に枝分かれしていますから、途中での部分的改善では、なかなか氾濫を防げません。取水口から放出口までを見通した対策が必要です。防災委員会を設置するなど大歳の英知を結集して、住宅が密集した時代にふさわしい内水氾濫対策を進めましょう。

防災 2

みなさんは避難所に避難できますか？

今、「避難所に安心して避難したくてもできない」という方が大歳地域にいらっしゃいます。お子さんに障がいがある山本さん(中矢原)は、避難時に周りのみなさんに迷惑をかけないか心配されています。

山本さんのお子さんは自閉症スペクトラム症と診断されています。自閉症などの発達障がいのある人の中には、その場の状況に慣れることができずに混乱したり、大きな声を出して走り回ったりすることがあります。普段と環境が違う避難所ならなおさらです。

宮野地区の取り組み

市内の他の地域でも同じ様な悩みを持っておられる方がいらっしゃいます。宮野地域では障がいのあるお子さんがいらっしゃるお母さん2名が地区社協や地域内の福祉施設の協力を得て、福祉避難所、及び一時避難所の開設を決めました。

大歳地域でも障がいのあるお子さんを持つ親御さんや地域のみなさんで協力し合えないでしょうか。

みんなで話してみませんか？

同じ様な悩みをお持ちの方がいらっしゃれば下記までメールください。これからの季節に向けて、防災のことなどを話してみませんか？

「誰もが安心して生活できるように一緒に考えていきたい」と、山本さんは話されます。

山本さん ootoshi2021@yahoo.co.jp



好評! 大歳の気になるお店

自家焙煎珈琲とお菓子 ひにけに珈琲

今回は湯田温泉駅近くの『ひにけに珈琲』を訪れました。今年1月にオープンし、コーヒー好きの夫妻が脱サラして作られた、木材を多く使ったおしゃれなお店です。

気になったお店の名前の「ひにけに」とは、万葉集の中に出てきて「ひごに」という意味だとか。日常を離れてゆっくりと過ごしてほしいという思いが込められているそう。

コーヒー豆は注文を受けてから焙煎するので、時間はかかるけど美味しさも格別。豆の種類も20種以上あり、焙煎度合などを好みで選ぶこともできます。また、素材にこだわった天然酵母パンやカレーなどもあり、焼菓子などテイクアウトもできます。

そして、お店の中から電車の通過を見ることができ、子どもや鉄道ファンならずともうれしくなります。くつろげる空間でゆっくりと過ごしませんか。

- 天然酵母パンプレート 750円(税込)
- 過替りカレー 980円(税込)
- ひにけにブレンド 500円(税込)



山口市今井町5番1号
営業時間 / 9:30~18:00
TEL / 083-976-6540
定休日 / 月、火曜日
駐車場 / 8台有



豊富な豆の種類



人気の過替りカレー



ちょっとおしゃれな里山散歩道をつくるのはどうですか

朝田から勝井まで、国道9号線の北側は里山が続いています。ここを里山散歩道として整備したらどうなるでしょう。

ルート2 熊野神社跡から古道を通過して、秋葉山の秋葉様へ上り、さらに伊藤五兵衛の顕彰碑のある郷之尾堤を回るルート

ルート1(案) 維新公園弓道場から登る朝田墳墓群。弥生期の貴重な遺跡があります。この先の鉾山跡・金山に展望台をつくって歩道を整備し、さらに2つの天神堤を回るルート(案)



ルート4 河内を通り抜け山道を楽しんで、流通センターでパンとコーヒーを楽しむおしゃれルート

ルート3 和田の史跡を楽しみ「宰の神」の峠を越えて夜泣き岩や旧五の宮へ出るルート

共有林ってどこにあるの? から始まって、やっと阿仙原の共有林にたどりつきました。馬庭の奥にあって、無住となって久しい「幻の里」阿仙原を里山公園として復活させるなんて素晴らしいことです。話だけは自由に広がっていきますが、実現するにはあまりにも多くの困難が。でも、とりたてて名所の無い大歳の新名所にするための人と知恵を集めてみたいものです。

新コーナー 写真で見る大歳今昔 Vol.1 軽便鉄道 和田橋停留所

ここにある一枚の写真は、かつて小郡から湯田間に明治41年(1908年)に開通した軽便鉄道の和田橋停留所です。開通当初、小郡と湯田の間を一日七往復していました。大歳地区にはこの和田橋の他に大歳(今の下湯田踏切付近)に停留所がありました。この軽便鉄道も大正2年(1913年)2月20日に山口線の開通とともにわずか5年で廃止されています。今の大歳駅と湯田温泉駅は開通から2ヶ月遅れで開業しています。昭和10年(1935年)には矢原駅もできています。

和田橋停留所があった場所は、今でも「茶屋」と呼ばれています。和田には、石州街道が通っており、古くから茶屋があったようです。軽便鉄道がおとる前には一日十数台の荷馬車や人力車、乗合馬車が往来し、茶屋では馬は飼料を、お客は窓から差し入れられる外郎を番茶で一服したと言われています。和田の外郎は県下でも名を知られ、三軒が軒を並べたり今も外郎屋という門名が残っています。

←残存する橋「わだ」と彫られている



当時の絵葉書



和田橋の東側より

山の稜線が同じ



現在の和田橋付近

参考文献: 山口市報 1997年12月 No.1209「歴史山陽路の道」山口市史「近代」、大歳小百年史

